

12 西東京市の施策に対する意向

最後に西東京市の施策に対する意向を見る。

<まとめ>

介護保険制度に関する施策への意向は、利用者では、「費用負担の軽減」「専門職の人材育成」、未利用者では、「費用負担の軽減」「家族介護の負担軽減」、施設等入所者では、「施設の増設」などが多く挙げられている。

未利用者の高齢者保健福祉施策に対する意向は、「在宅介護を支援するホームヘルパーの派遣等」「老人ホームなどの入所施設」「短期入所施設」などが高い。

利用者の成年後見制度についての認知度は、「知っていた」と「聞いたことがない」がどちらも4割台である。

成年後見制度の利用意向は、ある程度任せてもよい割合が3割近い。

(1) 西東京市の介護保険制度に関する施策への意向

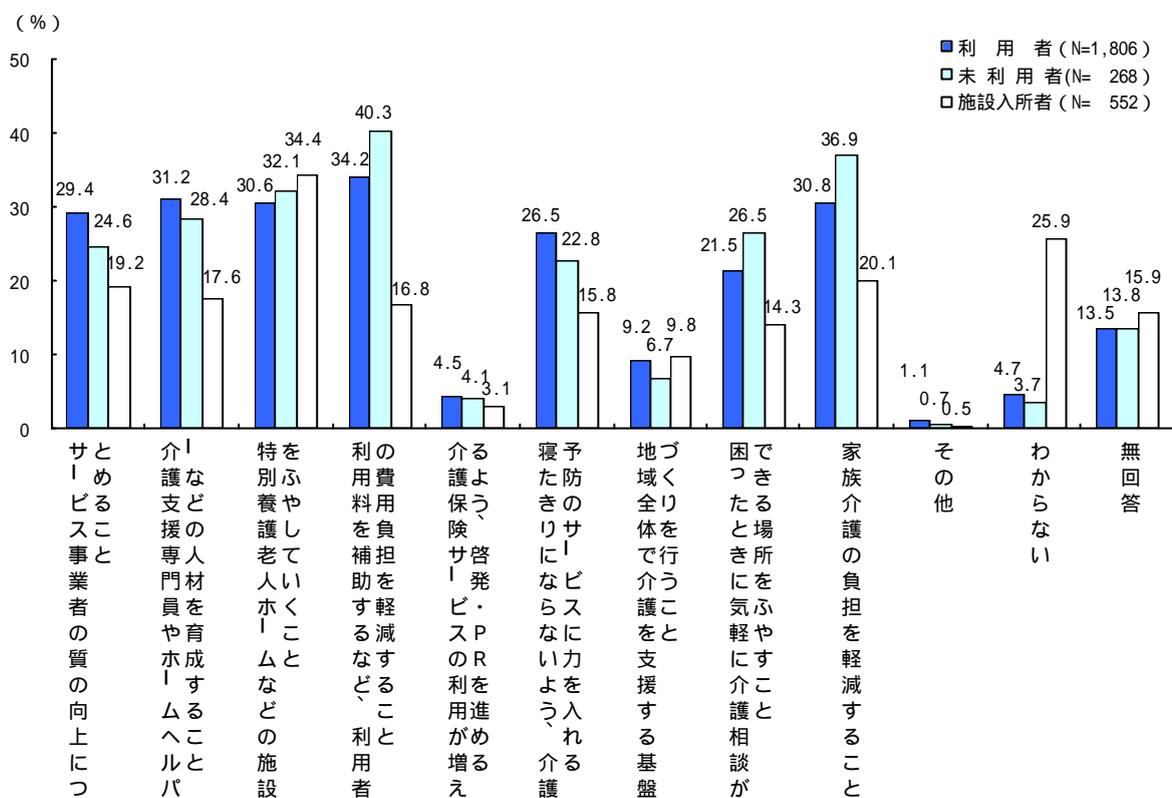
西東京市の介護保険制度に関する施策への意向をたずねた。

利用者は「利用料を補助するなど、利用者の費用負担の軽減をすること(34.2%)」「介護支援専門員やホームヘルパーなどの人材を育成すること(31.2%)」をはじめ、4項目が3割台、3項目が2割台と回答が分散している。

未利用者では、「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること(40.3%)」や「家族介護の負担を軽減すること(36.9%)」が高くなっている。

施設等入所者では、「わからない(25.9%)」が4分の1を占めているが、「特別養護老人ホームなどの施設を増やしていくこと」が34.4%と高くなっている。一方、「介護保険サービスの利用が増えるよう、啓発・PRを進める」は、どの調査においても低くなっている(図表 - 12 - 1)。

図表 - 12 - 1 介護保険制度に関する施策への意向
 (利用者調査、未利用者調査、施設等入所者調査 / 全体 / 複数回答)

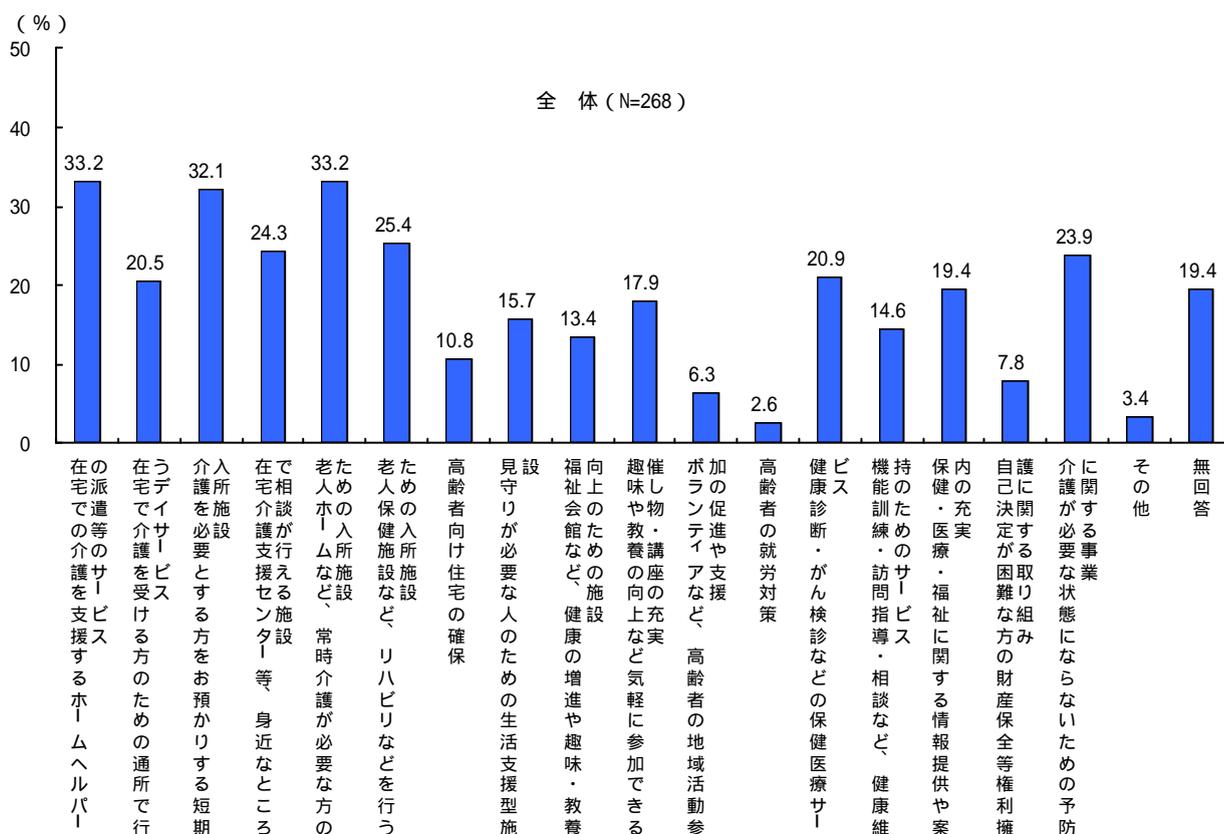


(2) 高齢者保健福祉施策に対する意向

未利用者に高齢者保健福祉施策に対する意向をたずねた。

全体では、「在宅での介護を支援するホームヘルパーの派遣等のサービス(33.2%)」、「老人ホームなど、常時介護が必要な方のための入所施設(33.2%)」、「介護を必要とする方をお預かりする短期入所施設(32.1%)」が3割台で比較的高い割合であるが、その他7項目についても2割前後の意向がある(図表 - 12 - 2)

図表 - 12 - 2 高齢者保健福祉施策に対する意向(未利用者調査/全体/複数回答)



(3) 成年後見制度

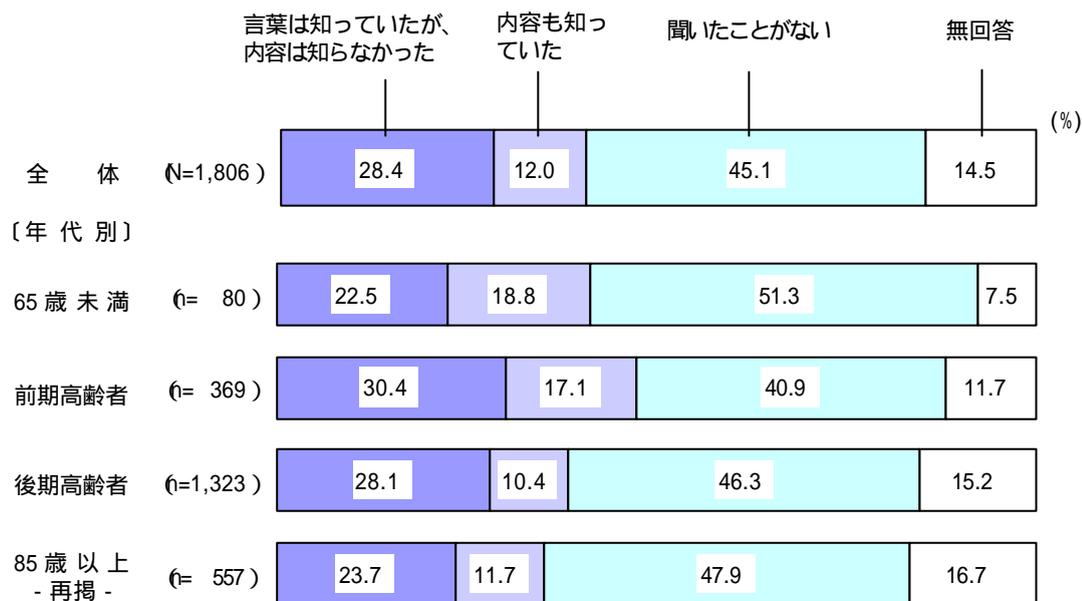
成年後見制度の認知

介護保険のスタートと同時に、新たな「成年後見制度」がスタートしているが、利用者に対し、この成年後見制度を知っているかたずねた。

全体では「内容も知っていた(12.0%)」は1割台で、「言葉は知っていたが内容は知らなかった(28.4%)」も合わせると約4割が“知っている”としている。「無回答」を除くと、“知っている”人と「聞いたことがない(45.1%)」人はほぼ同じくらいになっている。

年代別に見ると、前期高齢者では全体と比較して“知っている”人の割合が高い(図表-12-3)。

図表 - 12 - 3 成年後見制度の認知(利用者調査/全体、年代別)



成年後見制度への意向

成年後見制度を利用して、家庭裁判所が定める「成年後見人」に財産管理等を任せることについてどう思うかをたずねた。

全体では、「わからない(37.7%)」が最も多く、「任せてもよい(21.2%)」と「一部なら任せてもよい(6.0%)」を合わせた3割近くが“ある程度任せてもよい”と考えている。

年代別に見ると、65歳未満では“ある程度任せてもよい”という割合が高いが、その他の年代では違いが見られない(図表 - 12 - 4)

図表 - 12 - 4 成年後見制度への意向(利用者調査/全体、年代別)

